

作成日 2025年 11月 26日

受付番号： S2025-047

課題名：矯正歯科治療の長期予後の評価および長期安定性に関する要因の解明

1. 研究の対象

1967年1月～1999年12月に、高橋矯正歯科診療所で矯正歯科治療を受けられた方で、動的治療終了後20年以上経過された保定予後検査を受けられた方

2. 研究期間

研究実施許可日 ～ 2027年 3月 31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日： 2026年 2月 8日

提供開始予定日： 2026年 2月 1日

4. 研究目的

矯正歯科治療において、治療後の安定性は非常に重要な課題であるにもかかわらず、長期的な予後および安定にかかわる因子は依然として不明です。そこで、本研究の目的は、矯正歯科治療における術前・術後・長期保定後の検査の一環として撮影したパノラマエックス線写真および側面頭部エックス線規格写真を用いて、矯正歯科治療の結果および長期予後を評価し、治療安定性に寄与する要因を明らかにすることです。

5. 研究方法

本研究では、高橋矯正歯科診療所で矯正治療を受け、治療終了後20年以上にわたり経過観察が行われた患者のうち、治療経過や記録資料が良好に保存されている約40症例以上を対象としています。

研究では、治療前・治療後・長期経過後に撮影された側方頭部X線規格写真（セファログラム）を用い、頭蓋の基準点をもとに各種の計測項目を取得します。これらのデータをもとに、統計的な方法（多変量解析・重回帰分析）を用いて、治療後の歯並びや咬み合わせの安定性に関係する要因を検討します。

なお、本研究はすでに得られている資料を分析する「後方視的観察研究」であり、新たな検査や放射線被曝を伴うことはありません。高橋矯正歯科診療所から提供いただく資料については、特定の個人を識別できないように加工された情報に変換し、統計解析ソフト（SPSS）を用いて解析を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況 等

試料：パノラマエックス線写真、側面頭部エックス線規格写真

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

既存試料・情報の提供のみを行う機関

高橋矯正歯科診療所 院長 中村道 連絡先：pfc01651@nifty.com

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目4-10 アルカディア八丁堀ビル3階

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われぬのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東京科学大学病院矯正歯科外来・教授・小野卓史

連絡先：03-5803-5752

t.ono.orts@tmd.ac.jp

当院の研究責任者：東京科学大学 咬合機能矯正学分野 教授 小野卓史

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）